



**狛江・生活者ネットワークは  
市長選挙予定候補  
田中とも子さん  
を推薦します!**

☆



田中とも子さん出馬記者会見  
高橋前市長のセクハラ問題を追及  
するためにも活動した女性議員  
有志の会のメンバーと。  
山本あき子（左から3番目）

高橋都彦前市長のセクハラ問題での退任を受け、7月22日投開票で市長選挙が举行されます。

狛江・生活者ネットワークは過去二度の市長選挙において高橋氏を推薦したことを市民の皆様深くおわびいたします。推薦を行った政治団体の責任において、事件の真相究明に努めてまいりましたが、前市長が自らの行為を真摯に受け止めることも、被害者に公に謝罪することもなく慚愧に堪えません。この間女性議員有志の会及び市民の活動に後押しされ、4人の被害者が実名で市長に抗議文を提出したことにより、ようやく前市長が辞任するに至りました。

この事件を通して改めて、権力者である市長のセクハラ問題を解決できなかった狛江市政の問題点が浮き彫りになりました。一人ひとりの人権が大事にされるまちをともに作り上げていくために、狛江・生活者ネットワークはセクハラ問題に果敢に立ち向かった女性議員有志の会から立候補を決意した田中とも子さんを推薦し、初の女性市長誕生に全力を尽くします。皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

#### 田中とも子さん プロフィール

1957年山形県生まれ  
國學院大學文学部卒業  
大國魂神社巫女、防災関係企業勤務  
1997年から都議会議員(1期)  
2007年から日本共産党狛江市議(3期途中)  
市議会副議長、社会常任委員長、決算特別委員会副委員長、  
多摩川衛生組合議員、都市計画審議会委員、  
保育園父母会長、中学校PTA役員  
趣味は映画鑑賞、生け花(師範)  
多摩川住宅在住、家族は夫と三女



### 【市職員ハラスメント防止条例、被害者支援も首長の懲罰もきわめて不十分！】

最終日、自民党・公明党・無党派議員から提出された「市職員ハラスメント防止条例」案に対して、狛江・生活者ネットワーク・社民党・共産党は反対しましたが、賛成多数で条例は可決され、6ヶ月後施行されます。

#### ◇狛江ネットは見直し条項を提案し反映！

しかし、・被害者救済の視点がない ・立法事実（条例策定の目的）があいまい ・市長など特別職の懲罰規定が甘い ・市民参加がなく多様な意見が反映されていない ・専門的知見の不足など賛成できないと判断



市政への市民の信頼を取り戻そう！市長選挙予定候補田中とも子さんと山本あき子

#### ◇誰のための条例？

一部の議員が約四か月で作成した条例案、しかも3月時点で「まさかセクハラ行為はしていないだろう」と信じていた議員が、何故条例を作る必要があったのでしょうか。その問いに対し提出者は「たとえ完璧な形でなくても、一日も早く条例策定するのが議会人としての役割」と答弁しました。二元代表制の一翼を担う議員の役割は市政のチェック役を果たすことです。まず私たちがすべきことは「なぜ何年もセクハラ・パワハラ行為が放置されたか」の真相を専門家を入れた第三者調査によって明らかにすることです。被害者にとって現行の規則で何が足りなかったのか、相談体制をどのように整え、被害者がバッシングされないしくみをどう作るのか。それが分かってはじめて今回のセクハラ事件を教訓化できます。時間をかけて専門家や多様な市民の声、そして被害者支援に携わるサバイバーの声などを反映させつつ再発防止のしくみをつくる、そのプロセスこそが信頼回復につながると考えます。（山本あき子）

#### セクハラを許さない女性首長をつくる勝手連

##### ◎狛江、近日中に Facebook に公開！

発起人は佐藤香（女性と人権全国ネットワーク共同代表）、戒能民江（お茶ノ水女子大学名誉教授）など多数、あなたも賛同者に！

**★子育て支援も女性活躍も待機児問題も、全ての施策が、人権を大切にしない、セクハラ容認市政では進みません★**

#### “大丈夫？狛江のセクハラ防止条例”

##### ～セクハラ・パワハラのないまちに 学習会パート2

行政トップのセクハラ加害に苦しんだ狛江市で新しい「セクハラ防止条例」が可決された今、被害者支援や首長の処罰がどうあるべきか、専門的知見からお話を伺います。

講師： 中野麻実弁護士

日時： 8月2日（木）14:30~16:30

場所： 西河原公民館 学習室1

資料代： 300円

連絡先： 狛江・生活者ネットワーク ☎03-3430-1302

[komanet.seikatusya@nifty.com](mailto:komanet.seikatusya@nifty.com)